

縁えんを觀かんじる ― 報ほう四し恩おん 四よつつの条件じょうけんに應こたえる ― (二版)

我わが身みを生うんだ父ふ母ぼの縁えん

誕生たんじょうの条件じょうけん

無限むげんと思おもえる祖その命いのち

忝かたじけなくも受うけ継つぐと

応こたえる心こころに目め覚ざめたり

父母ふぼへの報ほう恩おん

我わが身みを支ささえる衆しゆ生じょう縁えん

生命せいめい維持いじの条件じょうけん

自然しぜんの恩おん惠けい有いう無むの生しょう

有あり難がたしとぞ觀かんずれば

報むくいる行ぎようは利り生しょうなり

衆生しゆじょうへの報ほう恩おん

我われ等らが生せい活かつ社しゃ会かいから

生活せいかつ安あん寧ねいの条件じょうけん

我わが身み一ひとつで成なり立たたぬ

更さらに平へい和わは有あり難がたく

忠ただして生いきるが誠まことなり

国王こくおうへの報ほう恩おん

仏ほとけの教おしえに慈じ悲ひを承うけ

成せい長ちやう不ふ染ぜん汚なの条件じょうけん

法ほうの自じ覚かくに智ち慧えを知しり

僧そうの和わ合ごうに正しょう道どう求もとめん

三さん宝ぼうへの報ほう恩おん

宮城みやぎ県けん大だい崎さき市し 瑞ずい川せん寺じ住じゆう職しやく 木き村むら謙けん文ぶん